

入中1年人権だより

徳島市 八万中学校
1年生 第23号
2021年 3月日
編集・文責 吉成正士

「日本の人権獲得の歴史 中世・近世」

「迷信と部落差別」を学んで

いくつかの感想が寄せられてきました。

迷信は数え切れないくらいあるので、何を言ったらいいのか分かりませんでした。まさか迷信が差別につながるとは思っていませんでした。しかも差別は何年も続いています。この差別をなくしたいと思います。

6組MS

今回の資料は、「迷信と部落差別」。でも、みなさんの感想は、どちらかというと「迷信」についての話題ばかりでした。「迷信」と部落差別にどんな関わりがあるのかを、はっきりさせておく必要があります。

日本の差別の起こりや、そのなかで人権を獲得してきた人々の歴史は、これまでに学んできたとおりで、江戸時代から明治、大正、昭和と、ここにこそ、差別と闘ってきた歴史があると言っても過言ではありません。ですから、実はこれからが大切な、人権獲得の激闘の時代とも言えます。その具体は2・3年生で学ぶとして、どうして「迷信と部落差別」か、です。

大切な点は2つあります。

まず1点目は、「しきたり・ならわし・言い伝え」のなかに、人の気分を害するようなことがらが入り込んでいて、それを頑なに信じ、その価値観で人を決めつける人がいるということ。その価値観を人に押しつける人がいるということ。そのなかに、被差別部落に対する差別意識も絶妙に入り込んでいるものがあるということです。部落に対して、「あそこの人は○○だから」とか、「あそこの地区は○○だから」といった、よく知りもしないこと、自分が直接見聞きしてもないことを、さもよく知っているかのように、自慢気に言いふらす、恥ずかしくて情けない人がいるということです。

2点目は、日本の歴史観に立って言えば、部落差別をする意識のおかしさです。日本の伝統や芸術、工芸や生活など、あらゆる分野において、その文化の土台を築き、守り、発展させてきた被差別民衆。部落差別をするということは、その歴史を否定することになります。ということは、その歴史とつながっている現代社会に生きる私たち自身を否定することになります。

今回までの部落差別の学習で、「ケガレ」という言葉を知った。本当なら感謝しなければいけない人々を恐れて差別をすることは間違いだと思う。これから差別をつくらないようにするためにも、まずは身の周りの「感謝」を考えていきたい。

5組NK

今まで「当たり前」や「常識」だと思ってきたことを、人権の視点で見直してみようということです。時代によって、「当たり前」や「常識」は変わってきます。人権が尊重される現代に合った「当たり前」や「常識」に変えていかないと、つい最近話題になった人だけではなく、あなたや私も、情けないことや恥ずかしいことを言ったりしたりしてしまうかもしれないということ。その陰で、嫌な思いをしている人がいるということです。

今まで迷信は面白おかしい言い伝えだと思っていました。でも今回の授業で、差別につながることもあると知ってビックリしました。

丙午(ひのえうま)のことはちょっと聞いたことがあったけど、より分かりました。その年に生まれただけで結婚できないなんておかしいと思います。しかも女性だけ。60年に一回のことだけど、その年に当たった人はつらいだろうなと思いました。次の丙午の年は2026年。そのときはこんな迷信なんか気にしないようになってほしいです。これから新しい迷信が生まれないように、噂を鵜呑みにしないようにします。

6組IN

面白おかしくしてるだけなら、別にいいのかもしれませんが。でも常に、「それが誰かに嫌な思いをさせてないか」と、気にかけておかないと、いつの間にか、どこかで誰かを嫌な思いにさせているかもしれないということ。それだけならまだしも、エスカレートして、あれやこれやと別な言い伝えにまで話が及んでいったとき、いつの間にか人の気を害するようなことを言ってるかもしれないということ。そんな経験、今までにもありませんでしたか？

丙午の話題についても、間違いなくその年が近づいてくれば、話題に上るはず。メディアは、人が食いつくような話題はすぐに取りあげますから。そのときに、自分がどういった反応をするかです。そして、その年に生まれた女の子をどう見るかです。嫌らしい言い方をしてる人に出会ったときに、どう対処するかです。そこが問われているのだと思います。

2026年なんて、すぐそこ。しかも、私たちが生きる時代。「なってほしい」と、ヒトゴトではなく、確実にワガゴトの時代です。私たちがなくしていく覚悟をもってみませんか。

迷信と差別について学習して、今までと「迷信」についての考え方が変わりました。今までは「迷信には様々な由来があって面白い」と思っていたけれど、今日の授業で、「迷信は扱い方に気をつけないと人を傷つけてしまう怖いもの」と思いました。もちろん、「茶柱が立つと縁起がいい」とか、「四つ葉のクローバーを見つけると幸せになれる」など、人を傷つけない迷信もあります。でも、今日習ったような「丙午生まれの女は…」みたいなのは良くないと思います。なので、不確かな情報などは、周りに広めたりしないようにしようと思いまし

